

トップメッセージ

再成長から、その先の未来を見据え イノベーティブなソリューションで社会課題を解決

現在、私たちを取り巻く社会はますます変化が激しく、不確実性を増しています。世界の人口は増加の一途をたどり、気候変動に加え、生物多様性・自然資本の回復などの地球規模の課題も深刻さを増しています。AIの進化や技術革新といった急速な進歩も、私たちに新たな可能性と同時に新しい挑戦をもたらしています。

このような状況下で「化学」は、人々の生活を支える「基盤」となり得ると同時に、新しい価値を創造するための「エンジン」にもなり得ます。「化学」には、持続可能な経済、社会、環境を実現するための無限の可能性があるので。

私たち住友化学は、その発足時から、社会課題に技術で向き合ってきた歴史を持ちます。銅の精錬過程で発生した煙害を克服するため、硫化鉱から硫酸を製造し、その硫酸を原料として肥料となる過燐酸石灰を生産したという成り立ちは、私たちのDNAに刻まれています。この「自利利他 公私一如」(住友の事業は、住友自身を利するとともに、国家を利し、かつ社会を利するものでなければならない)の精神を受け継ぎながら、私たちは挑戦を続けてきました。

当社が「長期的に目指す姿」として掲げる「Innovative Solution Provider」は、社会課題をイノベーティブな技術で解決する将来の企業像を示しています。当社グループの事業を通じて取り組む

べき社会課題として「リジェネラティブ農業の実現」「情報技術の革新」「先端医療の普及」「環境負荷低減社会の実現」を具体例として挙げ、2024年10月に再編した4つの事業部門にて取り組みを進めています。

創業以来、当社の未来を切り拓いてきたのは、社員全員による一人ひとりの努力と挑戦でした。これからも、さまざまな発想、価値観や技術を融合させて化学の枠にとどまらない新たな価値を生み出すことで、食糧・ICT・ヘルスケア・環境などの分野で社会課題へのソリューションを提供することに積極果敢にチャレンジし続けます。

当社の前にあるのは決して平たんな道のりではありませんが、業績の成長軌道への回帰を実現するとともに、社会課題をイノベーティブな技術で解決するグローバルに存在感のある会社へと飛躍したいと考えます。

今後とも、皆さまのご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。



代表取締役社長 社長執行役員

水戸信彰